三陸やまだ漁協の発足に向け町内４漁協が合併契約を締結

新組合の発展への決意を込めて固い握手を交わす４漁協の組合長（左から生駒利治大浦漁協組合長、山崎祐一織笠漁協組合長、白土盛山田湾漁協組合長、福士剛大沢漁協組合長）

７月14日、大浦、織笠、山田湾、大沢の各漁業協同組合の合併により本年10月１日に発足する三陸やまだ漁業協同組合の合併契約締結式が行われました。

会場となった町中央公民館には、来賓や町内各漁業協同組合および岩手県漁業協同組合連合会の関係者など合わせて１７０人が来場。式では、山田地区漁協合併推進協議会の会長を務める生駒利治大浦漁協組合長が「水産業を取り巻く情勢は、輸入水産物の増加に伴う価格の低迷や水産資源の減少、後継者不足などにより厳しさを増しています。このような中、町内の漁協合併の第一段階として山田湾内の４組合が先行合併することとなり、関係各位の努力により合併契約締結式を迎えることができました。新組合発足後は、スケールメリットを大いに生かし、経済事業の総合的な展開と営漁指導事業の積極的な推進を図る中で経営基盤を磐石なものとし、組合員の方々の期待と信頼に応えうる合併漁協づくりに役職員一丸となり努力する所存です」とあいさつしました。

続いて沼崎喜一町長と田山清宮古地方振興局長、大井誠治県漁連代表理事会長の立ち会いの下、４漁協の組合長が合併契約書に調印を行い、新組合の発展への決意を込めて固い握手を交わしました。

今回の合併は、近年の漁獲量の減少や各漁協の厳しい経営状況を踏まえて、町内の４漁協を再編成することにより経営基盤の強化や生産力の増強を図るために行うものです。合併後の組合員は１１２１人となり、県内で４番目の規模となる漁業組合が誕生します。新組合の事務所として、山田漁業協同組合連合会の事務所に本所を置き、大浦、織笠、山田湾、大沢に支所を置く予定となっています。

合併する４漁協の組合員数

平成21年３月31日現在

	正組合員	准組合員	計
大　浦	205	64	269
織　笠	117	155	272
山田湾	187	140	327
大　沢	239	14	253
合　計	748	373	1,121

４漁協の組合長が合併契約書に調印を行いました